

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 12 月 6 日作成)

小委員会名	電磁環境教育普及小委員会		主 査 名：吉野 涼二 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (電磁環境運営委員会)		委員長名：持田 灯 主 査 名：遠藤 哲夫
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2020 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>「建築工学における電磁環境 (EMC[*]) 技術」教育の啓蒙、普及に関する下記の項目を目的とする。 ※: Electromagnetic Compatibility, 電磁環境両立性</p> <p>(1) 主に建築工学系学生の専門教育への適用を目的とした教科書、あるいは技術報告の取りまとめと情報の公開に関する活動</p> <p>(2) 上記活動に付随した、大学や企業における講義や講演等の普及啓蒙活動</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>吉野涼二 (環境調査事務所)、志田浩義 (トーキン EMC エンジニアリング)、廣里成隆 (竹中工務店)、安藤一宏 (鹿島環境サービス)、加藤崇 (大成建設)、三枝健二 (日本大学)、新納敏文 (オータマ)、安岡正人 (東京大学名誉教授)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	無		
2019 年度予算	5,000 円	<p>ホームページ公開の有無：有</p> <p>委員会 HP アドレス：http://news-sv. ai. j. or. jp/kankyo/s33/</p>	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	第 10 回電磁環境シンポジウム [(仮称)建築電磁環境工学教科書案の紹介と討議の実施, 2020.2.27]
大会研究集会	無
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	<p>1. 教科書の作成：原稿執筆の終了 (シンポジウム等を経て更なる改良を予定)</p> <p>2. 講義の実施：大学院講義への準備</p> <p>3. シンポジウムの開催：講演内容、資料の準備</p>
委員会活動の問題点 ・課題	無

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価 **最終年度評価**)

総合評価 (4 段階評価)	A	B	C	D
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>当委員会の主たる目標に対して下記の成果を得ることが出来た。</p> <p>(1) 建築 EMC※技術に関する教科書，あるいは技術情報のとりまとめと情報の公開へ向けた活動 → 教科書「(仮) 建築電磁環境」の原稿執筆 (Ver.1, Ver.2)</p> <p>(2) 大学における建築 EMC 技術に関する講義や講演の実施 → 大学院「環境工学特講」への建築 EMC 講義導入へ向けての活動 (講義内容，実施スケジュール等)</p> <p>(3) 第 10 回電磁環境シンポジウムの開催 → シンポジウム開催に向けての活動 (講演内容，資料の準備等)</p> <p>次年度より設置予定の新規小委員会において「建築電磁環境工学教科書の出版へ向けた更新作業」，および「建築 EMC 技術の普及を目的とした講義や講演等の実施に関わる諸活動」等を積極的に推進したい。</p> <p>(※ : Electromagnetic Compatibility, 電磁環境両立性)</p>			

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価 (シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など) に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。